
第3回モニタリング会議 ご説明資料 (2015年4月～2015年6月業績報告)

2015年9月28日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

計画と実績の対比（全社PL）

全社の2015年4月～15年6月実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数字は、旅行業（とさでんトラベル）との合算であり、とさでん本社との合算数値となります

単位：百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～2015/6	進捗率
	12ヶ月 計画	3ヶ月 実績	
売上高	5,731	1,470	26%
売上原価	666	198	30%
差引収益	5,065	1,272	25%
人件費	2,648	595	22%
厚生費	304	80	26%
動力費	534	98	18%
修繕費	308	82	27%
物件費	120	27	22%
経費	1,009	224	22%
諸税	105	20	19%
減価償却費	425	102	24%
営業費計	5,454	1,228	23%
営業利益	-389	44	-
営業外収益	56	36	64%
営業外費用	78	27	35%
経常利益	-411	53	-
特別利益	470	4	1%
特別損失	138	18	13%
税引前当期純利益	-78	38	-
法人税等	2	-	-
当期純利益	-80	38	-

<差異要因等>

- ✓ 経常利益
 - 売上高は、ほぼ計画どおりの進捗。軽油単価の低位推移により、路線・高速・貸切バス等の動力費が低減したことなどから、第1四半期経過時点で営業利益44百万円、営業外での業務委託料収入などにより経常利益53百万円の黒字計上
- ✓ 特別利益
 - 計画上補助金は年度末一括計上しているが、一部4百万円入金あり
- ✓ 特別損失
 - 事業再生関連費用等
- ✓ 当期純利益
 - 第1四半期経過時点で当期利益38百万円の黒字計上

<主な勘定科目の説明>

- ✓ 動力費…軌道動力費、バス軽油費等
- ✓ 修繕費…軌道、バス事業における各種修繕等
- ✓ 物件費…水道光熱費、備用品等
- ✓ 諸税…固定資産税、自動車税等
- ✓ 減価償却費…固定資産償却、のれん代償却
- ✓ 営業外収益…受取配当金、業務委託料等
- ✓ 営業外費用…支払利息等
- ✓ 特別利益…補助金等
- ✓ 特別損失…事業再生関連費用等

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2015年4月～15年6月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位：百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～2015/6	進捗率
	12ヶ月	3ヶ月	
	計画	実績	
売上高	1,128	294	26%
売上原価			-
差引収益	1,128	294	26%
人件費	757	177	23%
厚生費	87	24	28%
動力費	197	35	18%
修繕費	120	31	26%
物件費	29	4	15%
経費	164	31	19%
諸税	25	6	23%
減価償却費	60	18	31%
営業費計	1,439	326	23%
専属営業損益	-311	-32	-
減価償却前専属営業利益	-251	-14	-

<差異要因等>

- ✓ 売上高
 - ほぼ計画どおりの進捗
- ✓ 費用
 - 人件費は、ほぼ計画どおりの進捗
 - 厚生費は、科目計上ルール変更に伴う増加
 - 動力費は、軽油単価の低位推移による減少
 - 修繕費は、ほぼ計画どおりの進捗
 - 物件費・経費は、7月以降に計上予定の費用を踏まえるとほぼ計画どおりの進捗
 - 減価償却費は、計画に対しバス車両2両前倒し導入による増加（2015年4～9月に導入予定の2台を同年3月期に前倒し）
- ✓ 専属営業損益
 - 動力費低減などにより、第1四半期経過時点で専属営業損益▲32百万円計上

<専属営業利益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業利益

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2015年4月～15年6月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位：百万円

	2015/4～2016/3	2015/4～2015/6	進捗率
	12ヶ月	3ヶ月	
	計画	実績	
売上高	1,000	256	26%
売上原価			-
差引収益	1,000	256	26%
人件費	558	131	23%
厚生費	70	18	26%
動力費	77	18	23%
修繕費	46	10	22%
物件費	22	5	21%
経費	60	13	22%
諸税	15	2	12%
減価償却費	48	11	23%
営業費計	898	208	23%
専属営業損益	102	48	47%
減価償却前専属営業利益	150	59	39%

<差異要因等>

- ✓ 売上高
 - ほぼ計画どおりの進捗
- ✓ 費用
 - 人件費は、ほぼ計画どおりの進捗
 - 厚生費は、科目計上ルール変更に伴う増加
 - その他項目については、計画進捗より減少して推移
- ✓ 専属営業損益
 - 営業費低減などにより、第1四半期経過時点で専属営業損益48百万円計上

<専属営業利益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業利益

※計画は、決算期の変更等を反映させた事業再生計画の16/3期

路線バスの利用状況は、収入はほぼ前年並みを確保、IC利用客数は前年比97%で推移

- 本表は運送収入のみ
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

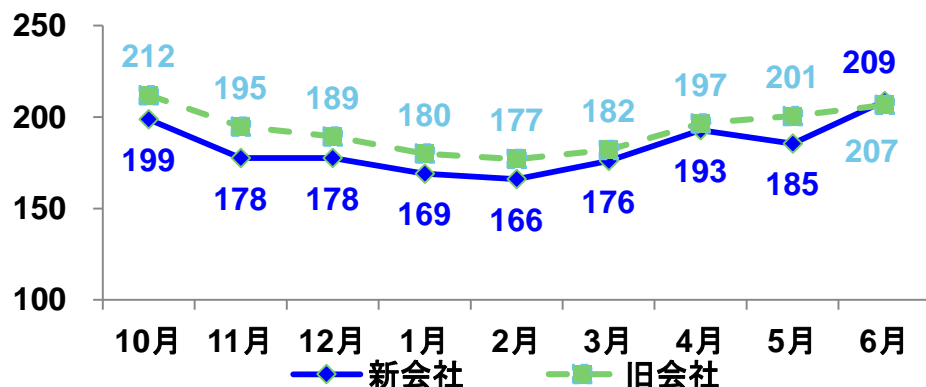
	2015/4～2015/6	2014/4～2014/6	前年 同期比
	3ヶ月 実績	3ヶ月 前年同期	
運送収入	287	291	99%
①定期全体	64	67	96%
②定期外収入	223	224	100%
うち、現金収入	118	116	102%
うち、SF	105	108	97%

※SFとは、ICカードに貯められた運賃のこと

<路線バス収入の増減要因>

- ✓ 2014年10月1日とさでん交通スタート時のダイヤ改正時に▲2.5%の減キロダイヤ改正を実施
- ✓ 2015年4月～6月の雨天日が前年比+11日となった影響等により、現金収入が増加
- ✓ 定期は通勤・通学共に減少。2015年4月から新たに定期ワイドフリー家族割引を導入中。
- ✓ 新会社設立後9ヶ月累計の運送収入は840百万円、前年同期は869百万円であり、前年同期比97%

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 人員はICカードのデータのみであり、定期・SF収入と同様の傾向
- ✓ 4月～5月は減少、6月は増加に転じる
- ✓ 3ヶ月累計の今期利用客数は587千人、前年同期は605千人であり、前年同期比97% (ICカード利用客数)
- ✓ 新会社設立後9ヶ月累計の利用客数は1,653千人、前年同期は1,740千人であり、前年同期比95% (ICカード利用客数)

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- 利用客数全体に占めるIC使用率は約70%

公共交通利用状況（軌道）

軌道の利用状況は、収入は前年比105%、IC利用客数前年比104%で推移

- 本表は運送収入のみ
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

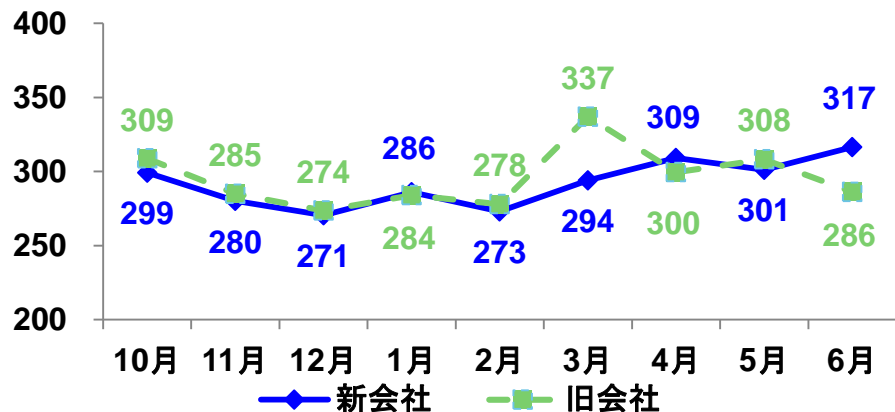
	2015/4～2015/6	2014/4～2014/6	前年 同期比
	3ヶ月 実績	3ヶ月 前年同期	
運送収入	235	223	105%
①定期全体	65	62	103%
②定期外収入	170	160	106%
うち、現金収入	109	99	109%
うち、SF	62	61	101%

※SFとは、ICカードに貯められた運賃のこと

＜軌道収入の増減要因＞

- ✓ 定期、定期外ともに増加
- ✓ 2015年4月～6月の雨天日が前年比+11日となった影響等もあり、現金収入が大幅に増加
- ✓ 新会社設立後9ヶ月累計の運送収入は677百万円、前年同期は673百万円であり、前年同期比101%

＜利用客数推移＞ 単位：千人



＜利用客について＞

- ✓ 人員はICカードのデータのみではあるが収入と同様の傾向
- ✓ 3ヶ月累計の今期利用客数は927千人、前年同期は894千人であり、前年同期比104% (ICカード利用客数)
- ✓ 新会社設立後9ヶ月累計の利用客数は2,630千人、前年同期は2,661千人であり、前年同期比99% (ICカード利用客数)

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- 軌道の利用客数は、ICカードの発売日単位で集計
- 利用客数全体に占めるIC使用率は約50%

公共交通取組状況

路線バスと軌道のこれまでの取組施策は以下のとおりです。また、路線バスの路線収支につきましても、実態の可視化に向けて現在作業中です

<取組施策>

内容	路線バス	軌道
■2015年4月1日以降 ※2015年6月30日まで		
1. 学生ワイドフリー”家族割”定期券の発売開始	○	○
2. 移動手段に関するアンケート調査	○	○
3. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちよろ〉	○	○
4. 婚活電車の運行	-	○
5. 電車の日イベント開催	-	○
6. 高校県体応援一日乗車券の販売	-	○
■2015年7月1日以降 ※2015年9月30日まで		
1. 春・夏・冬休み！キッズ定期券販売開始 7月14日から	○	-
2. サイクル&ショップライドの取組	○	○
■2015年10月1日		
1. ダイヤ改正	○	-
2. 障害者割引の拡大	○	○
3. 高齢者割引の拡大	○	○
■2015年10月1日以降 ※2016年3月31日まで		
1. 子供向け乗り方教室実施	○	○
2. 高齢者への利用促進活動	○	○
3. 2016年10月1日ダイヤ改正に向けた基礎データ収集	○	-
4. バス停の改修 60基(予定)	○	-
5. 初詣、神社・仏閣巡り乗車券	○	○

<路線バスの路線別収支の取組状況>

路線別の収支算出について、直接・間接経費を細かく系統別に算出し、路線毎の収支の可視化について、下記の要素等を踏まえ、前年6ヶ月分を基に現在内容を確認中。

➤ 運送収入

⇒ ICカードのSF利用者、ICカードの定期券利用者、現金他(IC以外の収入)

➤ 運行経費

⇒ 乗務員人件費、動力費(軽油費)、他直接費、間接経費

2015年4月～15年6月の公共交通設備投資は、以下表のとおりです

単位：百万円

事業	投資内容	投資予定額	投資額	投資目的・狙い等
路線バス	補助車両(5両)の購入	107	0	安全安心への取組みのため、前年度に当年度上期の2両を先行して購入
	リースアップ車(1両)の購入他	0	1	安全安心・接遇への取組みのため
軌道	※ホイストの購入他	139	1	作業員の安全確保および作業効率向上のため
合計		246	2	

※ホイストとは、吊り下げ式クレーン